

2020 年度

目標 (目的)	1. 手指消毒薬使用量 10L/1000P-days (2019 年度 : 6.5L) 2. 手指衛生直接観察 全職種入退室時実施率 80%血液培養 2 セット率 80%、 バンコマイシン TDM 実施率 100%維持	
日時 (実施日)	内容	総評価・考察
7 月	手指衛生直接観察	使用量 6.5→9.5L (1000 患者あたり) に増量、実施率 57→64%、微増したが目標達成しなかった。COVID-19 検査・入院受入れ体制整備と並行して啓発活動継続した。
10 月 6 日	委託業者に手指衛生実技研修	感染リンクナースと共同し、清掃職員に対し、手洗い実技演習をした。
6 月 10 月	血液培養 2 セット採取キャンペーン	ポップアップや採取セットを改善することで、血液培養 2 セット率 90% 台後半を維持できた。
随時	厚生労働省委託事業 (J-SIPHE) にデータ提出	デバイスサーベイランス以外は遅滞なく提出、委員会や院外カンファレンスで活用している。

【研 修】

開催月	テーマ	対象者	評価
4 月	感染管理研修・実技演習	新入職員	現場に出向く前の実技演習は効果的であった。
6 月	感染の成立と予防策 COVID-19 個人防護具着脱	全職員	出席率 92% COVID-19 拡大防止のため、動画視聴とした。
10 月	抗菌薬適正使用	全職員	出席率 39% 明日からできる AMR 対策を理解して頂いた。
10 月	COVID-19	全職員	出席率 87% 医師の診療経験を聞くことは、診療やケアの役に立った。
10 月	手洗い	委託職員	清掃職員に実技演習した。手洗いの重要性を理解して頂いた。
10 月	COVID-19	委託職員	MP 職員に基礎知識と対策を説明、タイムリーな内容だった。